

青木春三 あきま 春三 小説家。明治四十二年八月四日栃木縣生れ（一九〇一）。本名茂。別名青木菱雄。東京逓信講習所普通科卒、昭和二年小學教員資格取得。七年投書生活に入り、清谷閑子、淡部三、白井喬一等の知遇を得て雑誌『大法輪』、『新青年』、『少年俱樂部』等公執筆。十二年主婦之友社入社、のち終戦までこの二職を轉す。戦後雑誌『新日本』、『讀切講談』等の編輯長歴任。生か時代小説を書き、更に健康法等も著述。

著書 『炬火をがイオ』（昭和十七年十一月十日新踏社）、『文壇登壇作家いなる道』（昭和二十五年一月）二十日池田書店「実用新書」、『小説・ドラマの作り方』（昭和二十六年十一月）二十日池田書店「実用新書」、『昭和剣士と名勝負』（第二版第一刷、昭和五十一年十一月）二十日池田書店「実用新書」等。

『日本体育』、『スポーツ出版社』等。

